

歯科医学に必要な すべての疾患をこの1冊に!

口腔顎顔面疾患学

— 臨床口腔病理診断学 —

国試・CBT対策から臨床
までフルに活用できる!



著 昭和大学歯学部 立川哲彦

A4判/2色刷/204頁
定価(本体6,600円+税)
ISBN978-4-7624-0674-4

- 口腔病理学からみた疾患学のポイントを集約。
- 簡潔明快な解説で、知識の確認に最適。
- 口腔顎顔面疾患の正確かつ迅速な診断のために。
- 手元において辞書代わりに。

A 粘膜水疱性病変 bullous disease

種類	<p>1. ウイルス性疾患</p> <p>1) 単純疱疹ウイルスによる感染</p> <p>2) 水痘・帯状疱疹ウイルスによる感染</p> <p>3) ビコルナウイルスによる感染</p> <p>4) ポックスウイルスによる感染</p> <p>5) パラムイクソウイルスによる感染</p> <p>2. 免疫関連性疾患</p> <p>1) 尋常性天疱瘡</p> <p>2) 増殖性天疱瘡</p> <p>3) 落葉性天疱瘡</p> <p>4) 紅斑性天疱瘡</p> <p>5) 水疱性類天疱瘡</p> <p>3. その他の疾患</p> <p>1) 表皮水疱症</p>
----	---

1 ウイルス性疾患 viral disease

1) ヘルペスウイルス群による病変

ヘルペスウイルスとは	<p>ウイルスは遺伝暗号を発現する DNA または RNA の核酸コア (ゲノム) からなり、ヘルペスウイルスは DNA コアを有するウイルスである。</p> <p>・α群 (Hv-α): 細胞から容易に感染性ウイルスが放出される。</p> <p>・β群 (Hv-β): 感染細胞に感染性が付随している。</p>
------------	--

1) -1 単純疱疹ウイルスによる病変 herpes simplex virus (HSV)

単純疱疹ウイルスとは	<p>Hv-αに属するウイルスであり、2つに分類されている。</p> <p>・HSV-1: 性器以外に病変を生じるウイルス群。口唇ヘルペス。</p> <p>・HSV-2: 性器に病変を生じるウイルス群。性器ヘルペス。</p>
本ウイルス感染による病変の種類	<p>1. 急性疱疹性歯肉口内炎</p> <p>2. 疱疹性湿疹</p> <p>3. 口唇疱疹 (口唇ヘルペス)</p>
潜伏期間	感染後数日から2週間である。
感染率	人口の90%がHSVに対する抗体を有し、その約40%に病変の発現をみる。
ポイントワード	ヘルペスウイルス、口唇ヘルペス、性器、口内炎

(1) 急性疱疹性歯肉口内炎 acute herpetic gingivostomatitis

疾患の特徴	幼児に認められる歯肉腫脹、小水疱形成する疾患である。
臨床所見	<p>1. 1~6歳の幼児で、粘膜炎境界明瞭なびらんを認めるが、このびらは小水疱が破壊されたものである。</p> <p>2. 発熱、口臭、疼痛、リンパ節の腫脹を認め、10~16日で自然治癒する。</p> <p>3. 口腔ばかりでなく、顔面、四肢の皮膚にも小水疱形成がみられる。</p>
ポイントワード	ヘルペスウイルス、幼児、歯肉水疱、びらん、自然治癒

(2) 疱疹性湿疹 eczema herpeticum

疾患の特徴	<p>神経性皮膚炎やアトピー性皮膚炎に単純疱疹ウイルスが重感染したものの、</p> <p>1. 生後3か月から1年の乳児に多いが、思春期から中年にかけても発生する。</p> <p>2. 一般に高熱が続き、口腔粘膜に中央が陥没した小水疱が繰り返し発生する。</p> <p>3. 口腔粘膜の症状は本疾患の15%に発生する。</p>
臨床所見	ヘルペスウイルス、重感染、乳児、神経性皮膚炎、アトピー性皮膚炎、陥没性小水疱
ポイントワード	

目次

1 歯の発育異常

- 1 歯の大きさの異常
- 2 歯の形の異常
- 3 歯の数の異常
- 4 歯の萌出異常
- 5 歯の位置の異常および咬合の異常
- 6 咬合異常を伴う先天性疾患
- 7 原因による歯の形成異常

2 歯の損傷

- 1 咬 耗
- 2 磨 耗
- 3 歯の破折
- 4 放射線による歯の変化
- 5 化学的損傷

3 歯の沈着物および着色

- 1 沈着物
- 2 着色と変色

4 齲 蝕

- 1 エナメル質齲蝕
- 2 象牙質齲蝕
- 3 セメント質齲蝕

5 象牙質・歯髄複合体の病変 (歯髄の病変)

A 歯髄炎

- 1 細菌性歯髄炎
- 2 物理的歯髄炎
- 3 化学的歯髄炎
- 4 内部性肉芽腫または内部性吸収

B 歯髄の退行性病変

- 1 歯髄萎縮
- 2 歯髄の変性
- 3 象牙質・歯髄複合体の加齢的变化
- 4 辺縁性歯周炎における歯髄の変化

C 歯髄の進行性病変

- 1 象牙質の増生
- 2 歯髄の化生
- 3 歯髄切断と覆髄（歯髄の創傷の治療）

6 根尖性歯周組織の病変

- 1 急性根尖性歯周炎
- 2 慢性根尖性歯周炎

7 辺縁性歯周組織の病変(歯周病)

- 1 歯肉病変
- 2 歯周炎
- 3 壊死性歯周疾患
- 4 歯肉-歯周病変
- 5 セメント質の病変
- 6 加齢に伴う歯周組織の変化
- 7 病巣感染・歯性病巣感染

8 口腔顎顔面領域の形成障害

- 1 口腔顎顔面領域における披裂
- 2 舌の形成異常
- 3 口唇および頬などのその他の形成障害
- 4 顎骨の形成障害
- 5 奇形症候群

9 口腔粘膜の疾患

A 粘膜水疱性病変

- 1 ウイルス性疾患
- 2 免疫関連性疾患：天疱瘡
- 3 その他の疾患

B 粘膜潰瘍性病変

- 1 外傷性病変
- 2 細菌性病変
- 3 免疫不全性病変
- 4 アレルギー反応性病変
- 5 腫 瘍

C 粘膜白色病変

- 1 遺伝性疾患
- 2 反応性病変
- 3 その他

D 粘膜の赤色-青色病変

- 1 反応性病変
- 2 腫瘍および腫瘍様病変
- 3 感染症

E 粘膜の色素沈着病変

- 1 外来性色素沈着
- 2 内生色素沈着
- 3 腫瘍および腫瘍類似病変

F 粘膜の疣贅-乳頭状病変

- 1 反応性病変
- 2 感染性病変
- 3 腫 瘍

10 顎骨の病変

- 1 遺伝性疾患
- 2 代謝障害性疾患
- 3 原因不明
- 4 炎 症
- 5 顎骨の骨折
- 6 腫瘍および腫瘍関連病変

11 顎関節の病変

- 1 発育異常
- 2 外 傷
- 3 炎 症
- 4 顎関節症
- 5 顎関節強直症

12 口腔領域の嚢胞

A 歯源性上皮性嚢胞

- 1 発育性嚢胞
 - 2 炎症性嚢胞
- ### B 非歯源性嚢胞
- 1 顎骨の非歯源性嚢胞
 - 2 軟部組織に発生する嚢胞

13 歯源性腫瘍

A 良性腫瘍

- 1 歯源性上皮由来で歯源性外胚葉性間葉を伴わない腫瘍
- 2 歯源性上皮と歯源性外胚葉性間葉からなり、硬組織を伴うあるいは伴わない腫瘍
- 3 間葉あるいは歯源性外胚葉性間葉からなり、歯源性上皮を伴うあるいは伴わない腫瘍
- 4 骨関連病変

B その他の腫瘍

- 1 歯源性癌腫
- 2 歯源性肉腫
- 3 その他の歯源性上皮性悪性腫瘍

14 非歯源性腫瘍

- 1 良性上皮性腫瘍
- 2 良性非上皮性腫瘍
- 3 前癌病変
- 4 上皮内癌

- 5 悪性上皮性腫瘍(癌腫)
- 6 悪性非上皮性腫瘍(肉腫)
- 7 口腔への転移性腫瘍

15 唾液腺の疾患

A 唾液腺の発生と構造

B 唾液腺の疾患

- 1 発育異常
- 2 退行性病変
- 3 非感染性の反応性病変
- 4 感染性唾液腺病変
- 5 免疫不全による唾液腺疾患
- 6 唾液腺の腫瘍

C 唾液腺疾患のまとめ

16 老化と口腔病変

- 1 老 化
- 2 老年病
- 3 加齢に伴う口腔組織の変化

17 全身疾患と口腔病変

A 全身の症候

- 1 発 熱
- 2 悪心・嘔吐
- 3 食欲不振
- 4 動 悸
- 5 浮 腫
- 6 発 疹
- 7 貧 血
- 8 出血傾向
- 9 リンパ節腫脹
- 10 チアノーゼ
- 11 脱 水
- 12 意識障害
- 13 頭 痛
- 14 胸 痛
- 15 痙 攣
- 16 めまい(眩暈)
- 17 ショック
- 18 呼吸困難
- 19 嚥下障害
- 20 視力障害
- 21 口 渴
- 22 るいそう
- 23 疼 痛

B 全身性疾患

- 1 ウイルス疾患
- 2 細菌感染症
- 3 代謝障害
- 4 栄養障害
- 5 血液疾患

18 口腔病変と症候群

- 1 歯・顎骨の病変を主徴候とする症候群
- 2 口腔軟組織の病変を主徴候とする症候群
- 3 皮膚・粘膜の色素沈着の病変を主徴候とする症候群
- 4 神経の病変を主徴候とする症候群
- 5 代謝および内分泌病変を主徴候とする症候群
- 6 唾液腺病変を主徴候とする症候群
- 7 その他の病変を主徴候とする症候群

19 口腔病変の病理組織診断

- 1 細胞診
- 2 病理組織検査

株式会社 学建書院

〒113-0033

東京都文京区本郷2-13-13本郷七番館1F

TEL (03)3816-3888

FAX (03)3814-6679

http://www.gakkenshojin.co.jp

■ お取扱いは